

有名な本がいっぱい

宮沢賢治さんの本について!

～よだかの星～

顔が見にくいよだか、自分が生き残るために小さな虫を食べるのに疑問を持ち、どうやっていいのかを考える本、最後の結末は悲しいラストぜひお読みください。

～銀河鉄道の夜～

ジョバンニとカムパネルラの銀河鉄道の物語。一体どんな冒険が待っているのか、ぜひお読みください。

～宮沢さん～

妹の死を悲しみ、病気の中で本を書き続け、有名な作者となったのです。

1-2. KA

のほ本

September

by JJ



マスカレード・ホテル 東野圭吾

都内で起きた不可解な連続殺人事件。

容疑者もターゲットも不明。

次の犯行場所はホテル・コルテシア東京。

若き刑事新田は女性フロントワークの

山岸の指導の下、ホテルマンに化けて潜入捜査。

次から次へと怪しげな客たちが

訪れる中、二人は真相に辿り着けるのか...!?

集英社文庫

J3-4 S.S

『天国まで49日間』

櫻井 千姫

スターツ出版株式会社

14歳の主人公が、クラスメイトからのいじめを苦に飛び降り自殺をしてしまう。死んだ直後に目覚めると、そこには天使が現れ、天国に行くか地獄に行くか49日の間に自分で決めるように言い渡される。幽霊となった主人公が、霊感の強い同級生や、主人公をいじめていたメンバー、家族との青春ストーリー。

「きみの君たち」重松清
この本は、「友だち」という言葉の意味を改めて考えさせられるもので、登場人物の気持ちの変化が、すごくリアルに表現されています。是非、読んでみてください!

M.I

私には父親が3人、母親が2人いる。

家族は17年間で5回変わっている。周りから

は同僚の目向けられるが悩みなんてない。

「変わったものだ」。友達は見方が嫌いと言うけど、

私は皆に愛されているし、分からない。

そんな主人公優子をお母さんにしてくれる親のもとで「優子」はどう成長していくのか...

T.H.

Y.K.

そして、ボタンは3度された

瀬尾まいに 一文藝春秋



J3-3

F.A.